

令和3年度 学校関係者評価書

学校名 北海道北広島西高等学校

1 本年度の重点目標

(1)「学び直し」と「キャリア教育」を軸に、学ぶことの意義や生涯にわたって学び続けることの大切さを理解させ、主体的に学習する意欲と態度を育てる。 (2)教育活動全般を通じて、規範意識の向上と自主性・自律性の育成を図り、多様な価値観を持った人々と協働できる力を育てる。 (3)地域の教育資源の積極的な活用などにより、社会とのつながりの中で自己有用感や自己肯定感を高めさせる教育活動の充実を図る。 (4)全ての教職員が専門性を高めるための研修の時間等を確保し、効果的な教育活動が実施できるよう、働き方改革を推進する。	組織名	学校評議員会
	評価者	
	学校評議員 5名	

2 自己評価結果

①②の基準: A= 3.3以上 B= 3.0以上 C= 2.9以下 D= 2.5以下

評価項目・指導等		① 達成 状況	② 取組 の適切 さ	改善の方策	③達成 状況の 適切さ	④取組 の適切 さ	⑤今後の改善 方策の 適切さ
項目	小項目						
保護者・地域との連携等	本校では、ホームページや一斉メール配信等での情報発信を通じて、保護者との情報共有や連携を図っている。	A	A	○メールによる「発信」や「受信」(欠席連絡・健康調査等)も定着しており、今後は、オンライン会議等、ICTを活用した保護者との情報共有・連携を図る。 ○コロナ禍でも、地域の行事やボランティア活動へ積極的に参加・協力できる方法を検討し、その実践を図る。(オンラインでの交流等)	B	B	A
	本校では、PTA活動が活発に行われている。	C	A				
	本校では、施設・設備の整備や防災教育の充実により、生徒が安全・安心に生活できる環境・体制を整えている。	B	A				
学習指導	本校では、「学び直し」の取組を軸に、基礎・基本の徹底等、学力の向上を図っている。	D	A	○学校設定教科「ベーシック・スタディ」の目的を教職員が明確に共有し、学力診断テストの結果等目に見える形で反映できるよう充実を図る。 ○教員間の日常的な授業互見を促進し、双方向的視点での授業改善に向けた取組の推進を図る。	B	A	A
	本校では、授業規律を徹底し、主体的・協働的に学習する態度の育成を図っている。	C	A				
	本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、授業改善に取り組んでいる。	C	B				
生徒指導	本校では、規範意識の向上と基本的生活習慣の定着に取り組んでいる。	B	A	○クラス・リーダー会議等を主体とした、生徒提案型の授業規律の確立を図る。 ○生徒会主体による、生徒提案型の「いじめ」や「ネットトラブル」の未然防止策の確立を図る。	A	A	A
	本校では、いじめの未然防止・早期発見・早期解消に取り組んでいる。	A	B				
	本校では、事故や問題行動等の未然防止に向け、開発的・予防的な指導や相談に取り組んでいる。	B	A				
進路指導	本校では、生徒の自己実現に向け、3年間を見通した組織的・体系的な進路指導(キャリア教育)が行われている。	C	A	○進路実現に主体的に取り組む生徒を育成し、オンラインによる進路探究活動やポートフォリオを活用したキャリア教育の充実を図る。 ○大学進学希望者を含む全ての生徒の進路希望に対応できる指導体制の充実と、諸調査の分析により指導の改善・充実を図る。	A	A	A
	本校では、外部の教育力を活用し、広い視野で、自らの進路を切り拓く意欲と、社会人として必要な能力の向上を図っている。	B	A				
	本校では、説明会等を通じて、保護者に進路情報の周知が行われ、適切な進路選択に向けて、保護者との連携が図られている。	B	A				
学校運営	本校では、「重点目標」や「育成を目指す資質能力」を踏まえ、教職員が一丸となって教育活動の改善・充実に取り組んでいる。	C	A	○昨年度「目指す生徒像を考える委員会」を立ち上げ、今年度本校の「スクールミッション」「スクールポリシー」を完成させた。今後、委員会からの提言を受けて、分掌・学年が主体となり、「スクールミッション」「スクールポリシー」の具現化を図る。	B	A	B
	本校では、教職員が教育のプロとしての自信と使命感を持ち、生徒や保護者、また地域から信頼されるように努めている。	B	A				
	本校では、「働き方改革」の推進に向けて、職員の意識改革や学校運営の工夫・改善を図っている。	C	A				

※「①達成状況」:教員自己評価の結果 「②取組の適切さ」保護者評価の結果 (基準は上記参照)

※学校評議員の皆さまは、③④⑤を次の基準で評価して、回答欄(空欄)に記入して下さい。

A:十分である。 B:おおむね十分である。 C:やや不十分である。 D:改善を要する。